



沖ろう 寄宿舎まつり 10/4

今年で60回目の節目を迎える、恒例の「寄宿舎まつり」が開催されました。本まつりには、寄宿舎生のみならず本校通学生とその保護者、本校職員、卒業生など約100名余が来場し、笑って踊ってみんなで楽しく盛り上がりしました。

今年度の寄宿舎生は、少数ではありますが、司会進行・あいさつ・余興などそれぞれ自分たちで自ら企画担当し、堂々と活躍する様子がみられました。さらに、今回はボランティアとして沖縄国際大学の学生7名も参加し、サポート協力していただきました。



小学部 宿泊学習 10/8~9

10月8日~9日に、小学部高学年の3人が宿泊学習に行きました。初めて親元離れて友達と先生と過ごす体験です。

2学期からはじまった事前学習では、目がキラキラ輝いて、期待がいっぱいでした。行く場所の名前や、準備物、お小遣いの使い方など含めて、体験を通して言葉を広げたり、集団でのルールや公共施設のマナーの学習がねらいとなります。



「どんこ 田んぼ遊び」
金武町ネイチャーみらい館

田んぼ遊びや野外炊飯、キャンプファイヤーに御菓子作り体験など、普段できない貴重な経験となりました。初めは、慣れない手つきで、どうしたらいいのかわからないということも、やればやるほど慣れてきたり、上手になっていたりと変化が見られて、子どもたち自身も1泊2日「やりとげた」という充実感でいっぱいでした。

学校へ帰って「お帰りなさい」と下級生達から迎えられた時は、3人とも嬉しそうに、そしてちょっぴり誇らしそうに、みんなに応える姿もみられました。

一人一人の成長が感じられた宿泊学習でした。保護者の皆様もご協力ありがとうございました。



創立100周年記念品 完成 沖高特

創立100周年記念の為に記念品作成を本校の児童生徒だけでなく、県立沖縄高等特別支援学校に協力依頼をしていました。この度、スマホ台500個、時計30個が完成し、10月29日(火)に本校への納入式を行いました。

沖高特3年木工班の生徒が気持ちを込めて作ったスマホ台、時計台となります。沖縄ろう学校の創立100周年記念品ですが、同じ特別支援学校の生徒が心を込めて制作してくれたことで、「感謝の気持ち」が感じられる素敵な記念品となっています。

本校の子ども達も本校以外のいろんな関係者の協力を感じており「とても大切な母校」という意識が高まっています。



沖高特木工班の皆さん、
ありがとうございました。

制作の様子
「木製スマホ立て」



PTA作業 10/26

10月26日土曜日にPTA作業を行いました。今回は、100周年記念行事1カ月前ということもあり、体育館や玄関周辺の清掃活動となりました。

当日は、職員23名、保護者・生徒・ご家族24名、合計47名の参加がありました。とても暑中での作業となりましたが、各分担区域の作業を短時間で終わることができ、なかなか普段、清掃できないところがきれいになっていました。

PTA作業に参加くださった皆様、ご協力ありがとうございました。



100周年記念碑 建立作業終了

PTA作業と同じ日に創立100周年記念事業の一つでもある記念碑の建立作業が行われました。

記念碑の石は、御影石で、本校前校長(大城麻紀子校長)の御尊父である仲田文雄先生から寄贈いただいたものになります。

刻まれた年表には、大正13年(1924年)故田代清雄先生によって、「私立沖縄聾学校」として那覇市に創設され、戦前・戦後と大きく時代が移り変わるなか、戦災等の幾多の困難を乗り越え、現在に至るまでの歴史が刻まれています。

11月の記念碑除幕式まで、ブルーシートに覆われていますが、記念碑を見る度に、気持ちが引き締まる素晴らしい記念碑だと思います。いよいよ、100周年記念事業まで1カ月を切りました。楽しみにしていただければと思います。

